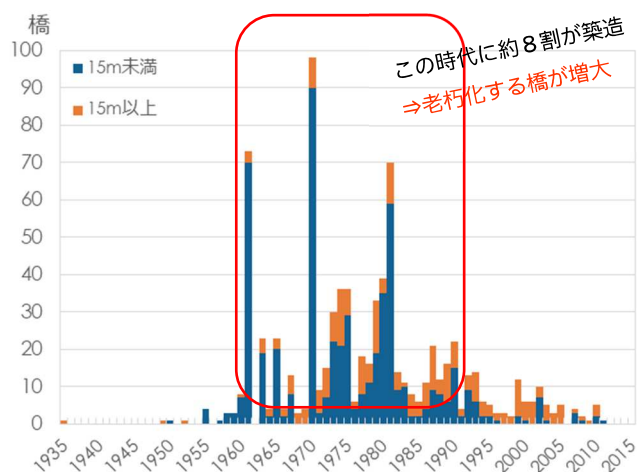


橋梁長寿命化修繕計画（概要版）

1 橋梁における現状と課題

- 郡山市では阿武隈川に架かる橋梁など約800橋を管理
- 橋梁の高齢化が進み、これまでの維持手法では修繕や架替えの費用が膨大

【橋梁の架設年】



福島県内には約 18,600 の橋があり、どの市町村も同じ課題を抱えています。

県内自治体の橋梁数ランキング

1位	福島県	約 4500 橋
2位	いわき市	約 2000 橋
3位	福島市	約 1100 橋
4位	国	約 900 橋
5位	郡山市	約 800 橋

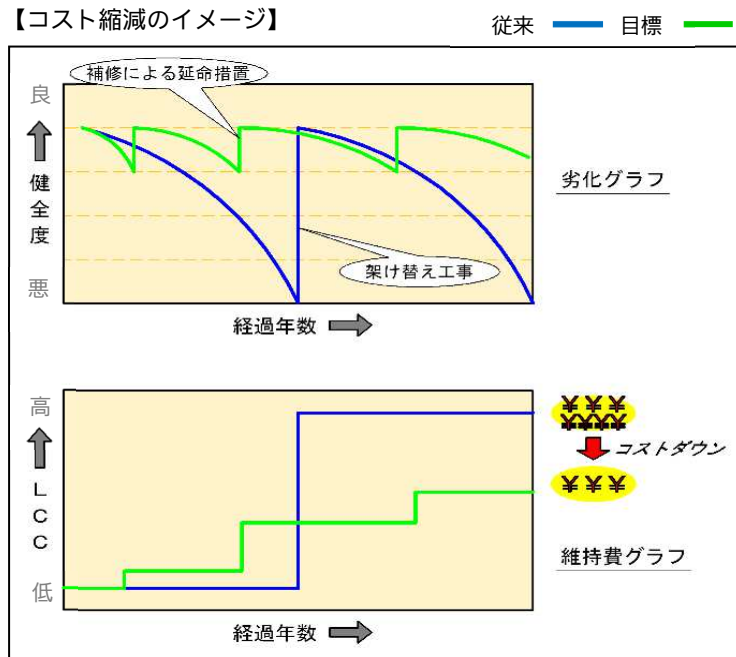
⋮



2 目標

- 橋梁の長寿命化
- 安全・安心な橋梁を持続し、道路ネットワークの確保
- 維持管理コストの縮減

【コスト縮減のイメージ】



持続可能な開発目標 SDGs の目標
11「住み続けられるまちづくりを」

橋梁の長寿命化は、将来世代になく持続可能なまちづくりを進めるため、SDGs の達成に向けた取り組みとして推進していきます。



3 計画の基本的な考え方と取組み

- 計画の対象橋梁は、815 橋
- 全ての橋梁を点検実施
- 橋の重要度に応じた管理区分を設定し、維持管理
- 橋の健全度、重要度から優先順位を付けて、修繕の実施

【管理区分の内容】

管理区分	対象数	管理内容・対象橋梁
重点管理	52 橋	<p>壊れると道路ネットワークや市民生活に大きな影響を及ぼす橋梁を対象に、橋梁の架替えが必要とならないよう重点的に管理を行います。</p> <p>①道路や線路を跨ぐ橋 ②災害時に輸送路として利用する道路の橋</p>
予防保全	210 橋	<p>壊れると道路ネットワークや市民生活に影響を及ぼす橋梁を対象に、損傷が軽微なうちに補修を行う予防保全型の管理を行います。</p> <p>①橋長 15m以上の橋</p>
簡易予防保全	303 橋	<p>壊れると市民生活に影響を及ぼす橋梁を対象に、損傷が軽微なうちに簡易な補修を行う予防保全型の管理を行います。</p> <p>①橋長 5m以上 15m未満の橋 ②迂回路が無い橋</p>
事後保全型	250 橋	<p>壊れると市民生活に影響を及ぼす橋梁を対象に、注意が必要となる段階で補修を行う事後保全型の管理を行います。</p> <p>① 橋長 5m 未満の橋 ②ボックスカルバートの橋</p>
合計	815 橋	

【管理区分別 橋梁の代表例】



▲重点管理橋梁：JR 線路を跨ぐ橋
・大黒橋（橋長 153.0m、幅員 18.0m）



▲予防保全橋梁
・赤坂橋（橋長 57.3m、幅員 7.0m）



▲簡易予防保全橋梁
・静橋（橋長 14.2m、幅員 6.0m）



▲事後保全型橋梁
・酒蓋橋（橋長 3.8m、幅員 3.8m）

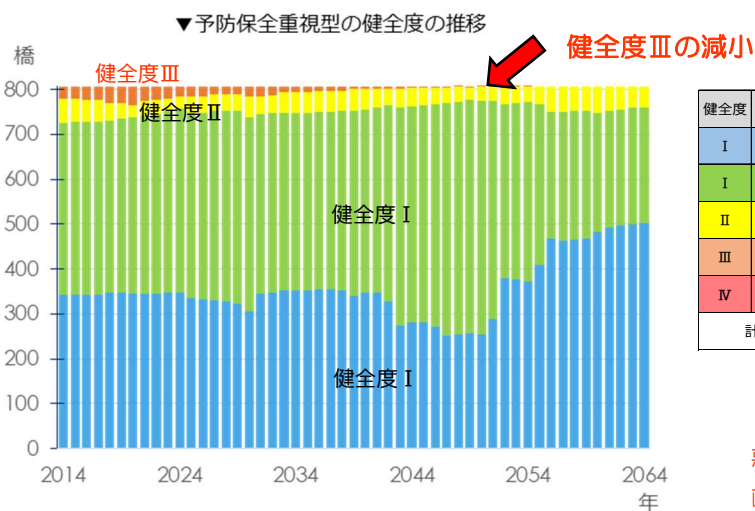
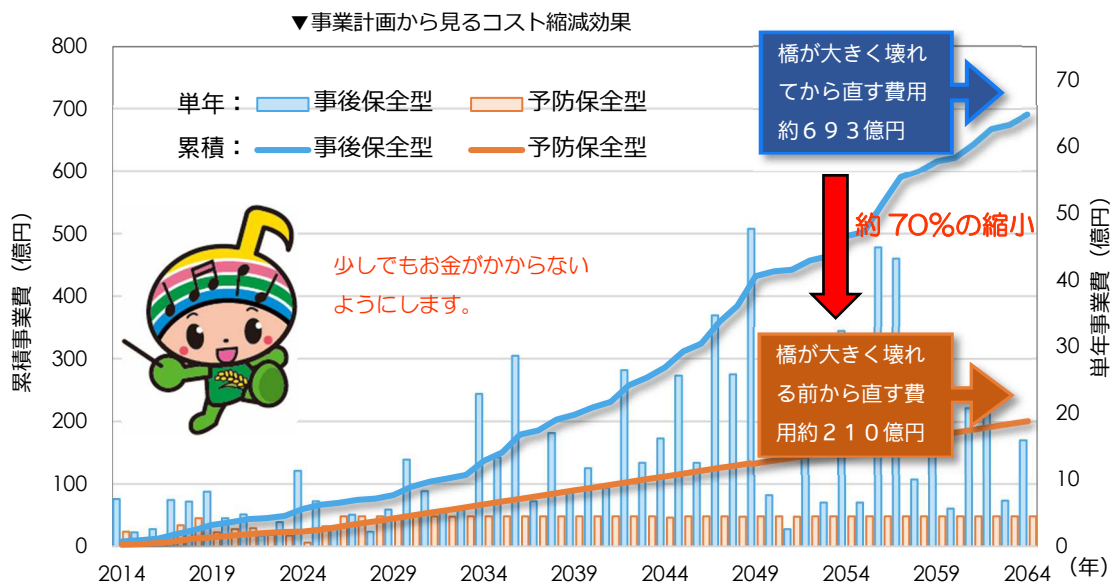


橋が常に健康であるように
点検します。

定期点検を5年に1回行い、
状態をよく見て、壊れそうな
橋や壊れてはいけない橋から
直していきます。

4 計画による効果

- 維持管理コストの縮減効果
- 健全性の維持



【2025年（R6年度）3月末時点】

健全度	状態	対策	割合
I	健全	対策の必要なし	42%
I	軽傷	対策の必要なし	48%
II	変状	予防的な修繕が必要	3%
III	注意	早期に修繕が必要	7%
IV	危険	大規模補修または架替えが必要	0%
計			100%

悪いところは早く直(治)して健康な橋だけにします。

5 工事の取組み

